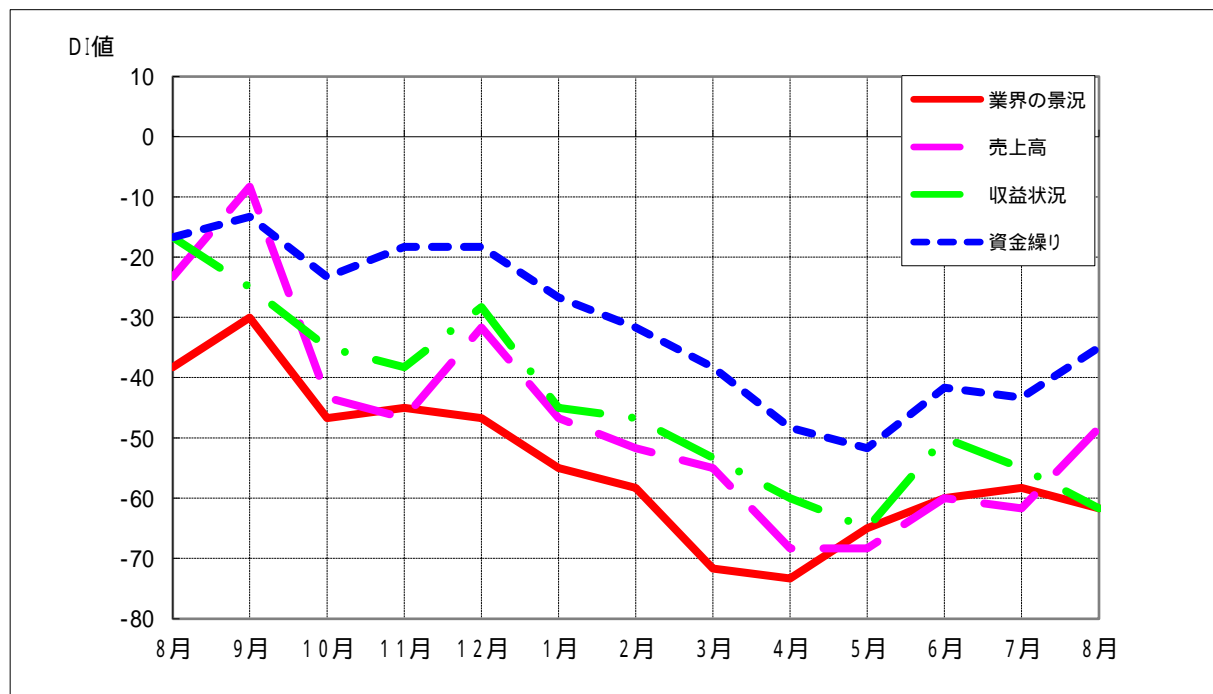


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 令和元年8月～令和2年8月

単位:ポイント



| | R1 | | | | | R2 | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 |
| 業界の景況 | -38.3 | -30.0 | -46.7 | -45.0 | -46.7 | -55.0 | -58.3 | -71.7 | -73.3 | -65.0 | -60.0 | -58.3 | -61.7 |
| 売上高 | -23.3 | -8.3 | -43.3 | -46.7 | -31.7 | -46.7 | -51.7 | -55.0 | -68.3 | -68.3 | -60.0 | -61.7 | -48.3 |
| 収益状況 | -16.7 | -25.0 | -35.0 | -38.3 | -28.3 | -45.0 | -46.7 | -53.3 | -60.0 | -65.0 | -50.0 | -55.0 | -61.7 |
| 資金繰り | -16.7 | -13.3 | -23.3 | -18.3 | -18.3 | -26.7 | -31.7 | -38.3 | -48.3 | -51.7 | -41.7 | -43.3 | -35.0 |

8月のDI値は前月と比べ、2項目改善、2項目悪化であった。「売上高」DI値は13.4ポイント、「資金繰り」DI値は8.3ポイントそれぞれ改善し、「収益業況」DI値は6.7ポイント、「業界の景況」DI値は3.4ポイントそれぞれ悪化した。

前年同月比では10カ月連続で全項目悪化しており、「収益状況」DI値は45.0ポイント、「売上高」DI値は25.0ポイント、「業界の景況」DI値は23.4ポイント、「資金繰り」DI値は18.3ポイントそれぞれ悪化した。

連絡員からは、新型コロナウイルスに加え、長雨や猛暑による影響も報告されている。製造業では、休業している事業所が増加し、依然として工場の稼働率は低調であるようだ。非製造業においては、人出や売上は回復の傾向にあるが、前年度比で5割程度の水準にとどまっているとの声が多い。

組合からの特記事項としては、業種を問わず、業務用の需要は低い状態との報告が引き続き寄せられている。資金繰りが悪化している事業所も多く、工場の稼働率等が低い中で、対応の限界に不安の声も上がっている。また、製造業・建設業においては、人材不足の声が上がっている。商店街などでは、補助金などを活用し、感染防止に対応した販売促進策に取り組んではいるが、売上の確保には苦慮しているようだ。

要望として、各種助成金や減税対策の緊急対応期間の更なる延長や新型コロナウイルスに感染した場合の柔軟な対応を求められている。